

協和風座席表指導案（アマゴつかみ，腹かき）

時：H19.10.20 場所：アマゴハウス横 指導者：渡辺隆史，黒谷克志（SG），森光矢（SG）

（1）本時の目標

- ・自分たちの工夫による「アマゴつかみ」をおこない，生きた魚に触れる体験を楽しんだり，アマゴについての知識を増やしたりする。
- ・SGが身につけている「腹かき」（または「串ざし」）の上手な方法を学び，自分たちでもできる喜びを味わうことができる。

（2）準備 〔個人〕タオル 〔学校〕簡易プール，水槽，軍手，バケツ，ナイフ，竹串

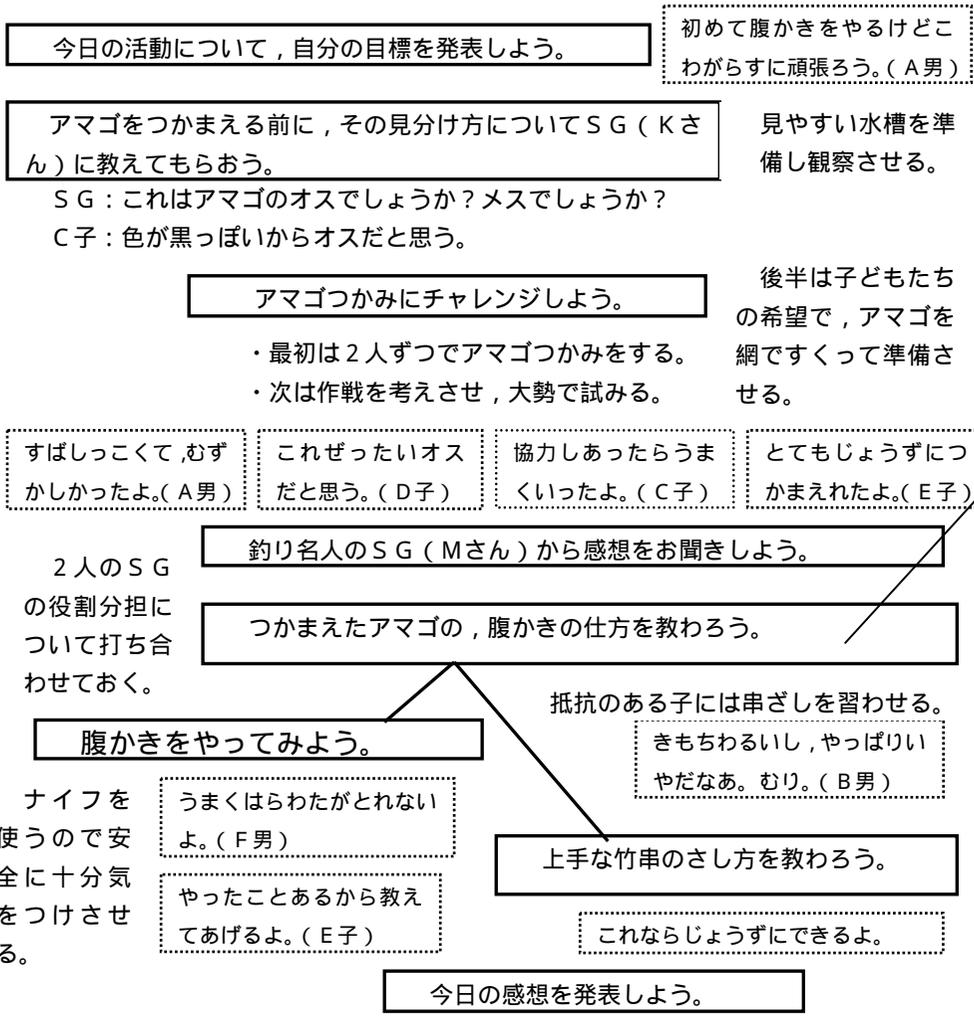
（3）展開

1年A男
自立心が強く，たくましさがある。いつも落ち着いており，作業なども集中して取り組むことができる。
魚つかみは別の場所で2回やったことがある。腹かきは初体験で期待を持っている。
上級生やSGのやり方をよく見て真似させ，腹かきも一人で取り組ませたい。

2年B男
活発で元気であるが，やや甘えん坊な面があり，人に頼ることがある。1年生の時，同活動の場面で腹かきを勧められたが，「難しそう」との理由でやらなかった。今回も魚の腹かきは抵抗感があるようだ。無理なようなら見学をさせ，塩焼きに備えて「串を刺す」等の別の活動を用意して頑張らせたい。

2年C子
1年生時は人に甘えて頼りがちで，意思表示もうまくできなかった子だが，下級生が入ってきてから，積極性が出てきた。下の子の世話もよくする。腹かきは一度だけ経験があり，今年もやる気満々である。友達へのフォロー役を期待すると共に，上手な腹かきの方法を覚えて成就感を味わわせたい。

I子，S子（福原分校）



3年D子
小さいお母さん といった感じの，しっかり者である。周囲の様子を見ていて，他の子の世話を焼いたり，注意したりもできる。魚つかみは6回，魚の腹かきも2回ほど経験がある。人の話をしっかり聞けるのでSGの助言を生かして，より上手な方法を学べる時間にしたい。

3年E子
いつも元気で明るく活発である。やるべきことはじっくり取り組める。
釣り名人の祖母を持ち，家で家族がへボを飼っている等の日常により，魚の扱いにも慣れている。6人中最も経験豊富なので，教える立場の場面を作り，活躍させたい。

3年F男
山間部の自然環境を大いに満喫しており，未経験のことに對してとても強い興味関心と期待感を持っている。
アマゴつかみも腹かきも今回が初めての経験になり，本人は両方ともやる気満々である。うまくいなくても，励ましながら，再チャレンジさせ，満足感を味わわせたい。

